



**葵建設株式会社 大水 賢一(おのみず けんいち)社長**

<1986年1月1日 賛助会員入会・同社 山中 博会長:当本部釧路地区支部長>



**【会社概要】**

- ・所在地 釧路市材木町15番17号
- ・創業 昭和26年3月16日
- ・資本金 9,980万円
- ・完工 高一約30億円(令和3年以降 過去10年間の平均)
- ・従業員数 45名 (令和4年4月1日現在)
- ・許可業種 土木工事業、建設工事業、  
とび・土工工事業、鋼構造物工事業、  
舗装工事業、しゅんせつ工事業、  
水道施設工事業、解体工事業
- ・主要官庁格付 北海道開発局:一般土木B 建築B、  
北海道:一般土木A2 建築A 農業土木A 水産土木A 森林土木A、  
釧路市:土木A 建築A
- ・ISO取得 ISO 9001:2008(品質マネジメントシステム)  
登録番号 MSA-QS-1073・初回登録 平成13年5月  
ISO 14001:2004(環境マネジメントシステム)  
登録番号 MSA-ES-941・初回登録 平成22年5月
- ・技術者数 一級土木施工管理技士16名、1級建設機械施工技士4名  
1級建築施工管理技士10名、1級建築士4名、建設業指  
定監理技術者 土木部17名、建築部9名

今回の会員企業トップインタビューは、葵建設株式会社 大水 賢一社長に伺いました。同社は、昭和26年に創業し、半世紀以上に亘り、「誠意と技術で豊かな郷土をきずく」の理念のもと、地域社会の発展を支えてきました。また、平成9年度全国産業安全衛生大会において、中央労働災害防止協会会長賞を受賞され、全員参加で安全衛生活動を推進しています。同社におかれては、平成元年より地区支部長をお引き受けいただき、現在は山中会長にご就任いただいております。

**Q. 貴社の沿革をお聞かせください。**

A. 当社は、昭和26年3月に創立し、資本金100万円で営業を開始しました。前身は釧路石炭港運で太平洋炭礦内の構内掘進工事を請け負っていた部門と、吸収合併した橋本工作所(本社・小樽)の建築・土木部門を独立させ、令和3年4月で70周年を迎えました。昭和48年には特定建設業許可を取得し、平成5年資本金を9,980万円に増資、平成13年ISO-9001品質マネジメントシステムを、平成22年ISO-14001環境マネジメントシステムを取得したほか、平成18年に事業継続計画(BCP)を作成し、令和2年に働き方改革の一環として社屋大規模改修を行いました。また、令和4年8月1日にはSDGs宣言をして、持続可能な開発目標の実現に取り組んでおります。

**Q. 貴社の経営理念についてお聞かせください。**

A. 当社は、社是「融和繁榮」および社訓「一致協力」「至誠一貫」を制定しているほか、5項目の経営方針を掲げて、具体的かつ分かりやすく示しています。

社是社訓は、昭和52年12月、現在の社屋を建てた時に制定したと記憶しております。私自身入社して2年目の事で内容についてはよく考えもせず、ただ皆さんと唱和していたように思います。融和繁榮とは、相手と気持ちが通じ合い良く打ち解けて仲良くし、勢いよく会社を栄えさせること。一致協力とは、グループや仲間がお互いの力を合わせ、心を一つにして協力し合うこと。至誠一貫とは、最初から最後まで誠意をもって貫き通すことです。この他に、経営方針があり、チームワークを図り、明るい会社を作りながら、豊かな生活を

目指し会社を発展させ社会に貢献するとしています。このような内容のものを作って頂いた諸先輩に感謝しております。

**Q. 貴社は、国や自治体などから表彰されていますね。内容をお聞かせください。**

- A. 近年の表彰受賞は次のとおりです。
- 令和4年7月 北海道開発局 i-Con 奨励賞
  - 令和4年3月 釧路総合振興局(農村振興課) 優秀技術者賞
  - 令和2年12月 釧路総合振興局釧路建設管理部 工事優良表彰
  - 令和2年12月 釧路総合振興局釧路建設管理部 優秀現場代理人表彰
  - 令和2年11月 釧路市優良施工者表彰(土木A部門)
  - 令和2年11月 釧路市優良施工者表彰(建築A部門)
  - 令和2年7月 北海道開発局釧路開発建設部 優良工事表彰
  - 令和2年5月 道森林土木協会森林土木事業 優秀技術者表彰



本社社屋

令和2年5月 農林水産省水産庁長官表彰  
令和2年3月 釧路総合振興局林務課優秀技術者賞

**Q. 貴社の社会貢献活動の中から何点かお聞かせください。**

A. 毎年、9月中旬に3日間、北海道釧路工業高校の土木科・建築科の2年生各2名ずつをインターンシップとして受け入れを行っています。

その他、各工事現場において、地域の道路清掃・草刈り・花壇の整備・お祭りのお手伝い・小中学校にマスクの寄付など行っています。

**Q. 施工実績の中でのトピックスや話題の建造物はありませんか。**

A. 近年では阿寒IC～釧路IC間の道東自動車道の建設や港湾、漁港、道東沿岸の高潮対策、漁港天蓋施設、釧路近海の水産漁礁設置、森林土木工事など、また、民間建築工事では堅展実業(株)様の厚岸ウイスキー蒸留所の施設建設、(株)三ツ星レストランシステム様の店舗新築・改装などを手掛けています。令和2年度には、ウイスキー醸造所の堅展実業(株)様の厚岸精麦棟を受注し、建造しています。世界に誇れるウイスキーづくりのお手伝いのできたことを従業員一同、大変喜んでいました。

**Q. (株)セコマ様の建物も受託されたと伺いました。**

特に近年の大型物件として、2016年セイコーフレッシュワーズ様のセコマ釧路配送センター新築(釧路市阿寒町)は、同社の建築部・土木部が計画から設計・施工まで、同社と協力会社が一体となって短期間で完成させて、現在に至っています。

**Q. 貴社の社風、個性、社員気質などお聞かせください。**

A. 当社の社風は、ものづくりの会社としてチームワークを発揮して、社史に残る、誇れる仕事となるよう全力で取り組むというものです。

個性は、昨年70周年の節目を迎え諸先輩が築いてきた社風を守り、更なる会社の発展・繁栄を目指し社員全員が自己啓発に努め、社会に貢献する姿勢です。

社員気質は、土木・建築の技術職員はそれぞれの仕事に責任を持ち、各工事において問題点がある場合は、チームワークを発揮することにより、さらなる技術の向上を目指して対処しています。各自失敗を恐れず最後までやり遂げる姿勢が見えます。



堅展実業(株)厚岸蒸溜所精麦棟



道東自動車道橋梁工事

**Q. 貴社の社員の採用、人材育成方針をお聞かせください。**

A. 釧路工業高校・釧路工業高等専門学校を中心に、新入社員の採用をしておりましたが、近年、釧路市内の普通科高校にも求人を出したところ、建設会社に興味のある生徒が増えていて、普通科高校からも技術者として採用しています。また、札幌方面に就職したものの釧路に戻ってきた人材の採用、及び即戦力となる中堅の技術者の採用も行っています。

人材育成方針としては、新入社員は入社翌日から会社周辺の測量実習に取り組んだり、CADの使い方講習などを実施しております。入社初年度から2級土木・建築施工管理技士の学科が受験でき、準備講習受講と赴任した工事現場にて日々勉強する時間を決め受験させています。結果ほとんどの社員が一度の受験で合格しております。

**Q. 働き方改革が話題となっています。貴社の取り組みをお知らせください。女性活躍なども含めてお願いします。**

A. 4年ほど前までの女性事務職員は、臨時職員扱いとなっていましたが、私が常務取締役の時に山中社長にお願いをして正職員としました。昨年9月に女性1名を総務部で採用、今年1月には、現業部門の業務担当で女性を1名採用いたしました。男性職員と同様の給与体系とし外回りの仕事に就いてもらっています。今年1月に入社した女性には、通常業務の他に建設業界の安全協議会の事務局長を担当してもらい、SDGs宣言書の作成及びこの宣言に伴う就業規則の見直しの補佐や、総務部のISO担当も務めております。スキルの高い人には、それを発揮していただいて、それに見合った評価をしています。

働き方改革については、昨年振替休日申請書・緊急時の代休休日申請書・残業申請書の提出制度を定め、今年度からは、ひと月の残業時間を60時間までとしています。社員全員分の毎月20日までの残業を確認し、その時点で40時間を超えている社員には、月末までに60時間を超えない工夫をすること注意喚起しています。

基本的には、4週8休ですが、民間工事担当者はなかなか難しい状態で、今後対策を考える必要があります。

**Q. 人手不足により企業活動に影響をきたすとの声も聞こえます。**

A. 当社では、総務部・建築部の人材は不足していません。土木部においては若い社員で資格取得できていない者もありますが、今後4～5年で十分な状態となる見込みです。現在の技術職については、40～60歳までが主力となっているため、今後継続して新規採用を続けていくとともに、中途採用も実施してまいります。現在YouTubeに当社のPR動画を掲載していて、少しでも新規・中途採用人材を発掘出来るようしております。

**Q. コロナ禍による事業への影響や対応等についてお聞かせください。**

A. 当社の職員・直営従業員数名がコロナに感染し、出勤停止としておりましたが、給与については全額会社負担しております。

このほかには、会社負担で社員全員が生命保険に加入し、保険会社からコロナに対する保険給付金が出るようにしています。事業への影響としては、若干工程に遅れが生じたり、工事を中止する場合がありますが、コロナ感染拡大防止を最優先し、特段大きな影響が出ないようにしています。

**Q. 大水社長様の入社の際の経緯および、特に印象に残る事柄をお聞かせください。**

A. 蔡建設を選択した理由は、高校の進路指導室の資料を見ていたところ、資本金が一番多かったので選択しました。本来は、公務員になりたかったのですが、私の卒業年度に市職員の募集が無かったため、民間企業としました。また、私の卒業年度は極端な就職難の年で早い者勝ちだと思いい、当社のパンフレットを誰よりも早く迷わず入手しました。

入社してから初めて当社が大栄産業グループの9社の中の1社ということが分かり、沢山のグループ会社があることに驚きました。今となつては、ごく普通のことですが大変印象に残っています。

**Q. 平成元年から当時の山崎社長、平成9年から庄司社長、平成18年から山中社長と3代に亘って釧路地区支部長をお願いし、ご協力をいただいております。生産性運動(活動)への取り組み・印象等お聞かせください。**

A. 今まで私自身、生産性運動に携わっておりませんでしたので、具体的な活動は良く分からない状態でしたが、生産性をよく考えた時、現存するものの進歩・改善されたものを取り入れて、さらなる生産性の向上を図る考え方は、私たち建設業にも通じるものがあると感じております。また、この度就業規則の見直しを行い、社員の働きやすさを最優先に改善しましたが、昨年札幌での生産性労使フォーラムに参加させて頂き、色々ヒントになることもあり、大変参考になりました。

今後も、生産性について勉強をしながら、社内の改善に努めたいと思っております。

**Q. 貴社の今後の取り組みと課題等についてお聞かせください。**

A. SDGs 宣言を行うに当たって、就業規則の見直しを実施しました。この見直しには社会保険労務士の方にも手伝って頂いて、定年退職の年齢を63歳から65歳に引き上げて、定年退職後、通常業務をこなせる社員は嘱託扱いではなく、退職前の給与と同額としました。

3年前から40歳以上の職員は3年ごとに健康診断時にPET検査を受けることとし、30歳~40歳の女性には、子宮頸がんと乳がん検診の受診を義務付けました。従業員が安全に安心して働ける環境作りを徹底し、従業員や家族の幸せを守ることが会社の使命と考え、健康経営、ダイバーシティ経営の実践を目指します。